

滋賀ものづくり経営改善インストラクター 養成スクール 第3期 受講者募集案内

募集期間

平成29年6月2日～平成29年8月10日

実施主体:公益財団法人 滋賀県産業支援プラザ
運営協力:滋賀県、立命館大学

「滋賀ものづくり経営改善インストラクター養成スクール」の目指すところ

「ものづくり県」として発展してきた滋賀県。事業活動のグローバル化が進展する中、世界で通じる、世界で認められる企業となるために、経営の基本であるものづくり力のさらなる強化が求められています。

これまで多くの企業では、その企業固有の技術を中心に企業経営を考えてきました。しかしながら、その企業固有の技術という「種」を「花」へと成長させるために必要な技術、いわゆる“ものづくり技術”については、その概念の難しさやそれを定着させるまでに相当の時間を要し、その“ものづくり技術”が体現された“ものづくり組織能力”として構築させるまでの具体的な取り組みは極めて少ないものでした。

企業の持続的な発展、企業付加価値を増大し地域社会の付加価値を高める（地域創生）こと、地域GDPを増大することによる雇用の増大に真正面から取り組むためには、その車輪の両輪である、企業固有の技術と“ものづくり技術”の育成を図ることが求められています。

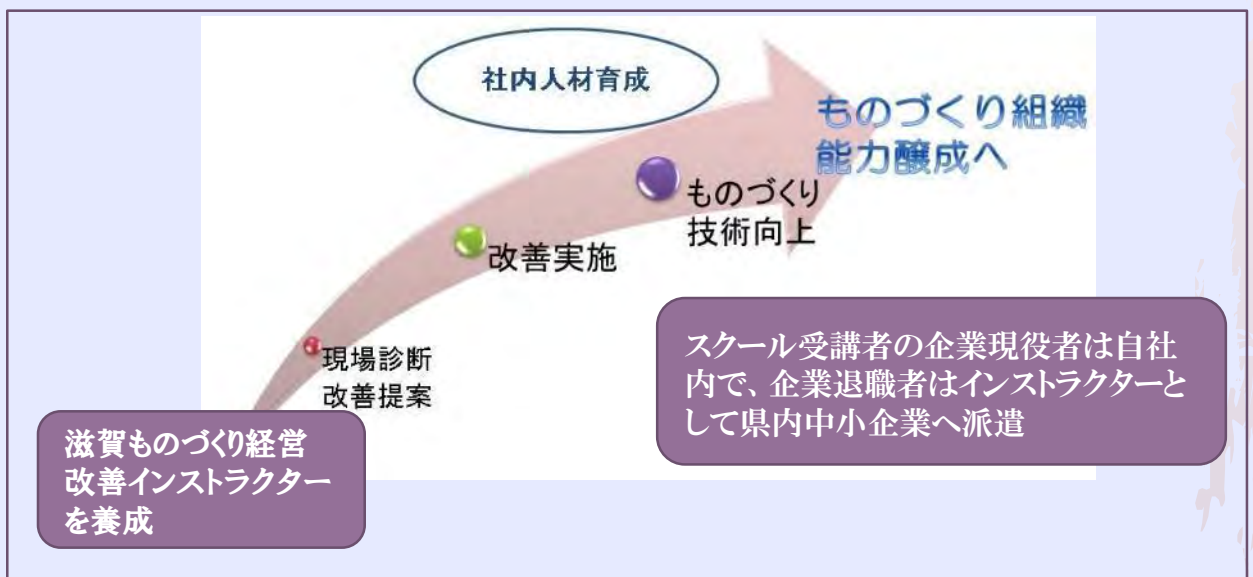
そこで、「滋賀ものづくり経営改善インストラクター養成スクール」では、次の2点の目的を掲げています。

① 県内企業の経営基盤強化・安定のために

- ・県内企業の中に、ものづくり技術を習得し活用できる人材の育成を支援し、ものづくり組織能力を構築することにより、持続可能な成長の基盤を造成します。

② 企業退職者人材の活用のために

- ・ものづくり企業OBを中心に、本県内には多数の有能な産業人材がその活躍の場を求めています。
- ・それぞれの経験知である固有の技術を整理し、伝達可能な形式知に変換し、県内企業へ伝播することができる能力へ高めます。



「滋賀ものづくり経営改善インストラクター養成スクール」の勘所

カリキュラムの特色

- ・東京大学ものづくり経営研究センター開発カリキュラム
- ・立命館大学と滋賀ものづくり経営改善センターで共同開発したカリキュラム

「滋賀ものづくり経営改善インストラクター養成スクール」のカリキュラムは、「ものづくりシステム」の国際的研究拠点である「東京大学ものづくり経営研究センター」で実際に使用しているインストラクター養成スクールカリキュラムを中心に据えています。

また、実際にもものづくりの現場で活躍する滋賀ものづくり経営改善インストラクターの経験をもとに、滋賀県と包括連携協定を締結した立命館大学と共同で開発した独自カリキュラムを盛り込み、県内企業へ「ものづくり技術」を有した人材を育成することを目的とした内容としています。

教材には、東京大学藤本隆宏教授の「生産マネジメント入門Ⅰ・Ⅱ」（日本経済新聞出版社）、「東京大学ものづくりインストラクター養成スクール」テキストに加え、独自テキストを使用します。

また、カリキュラムには現場診断実習も含み、座学で学んだ内容を実際の現場で活かす手法を滋賀ものづくり経営改善インストラクターとともに体験しながら学ぶことができます。

経験豊富な講師陣

講師は、東京大学教授、立命館大学教授といった学識経験者、大手企業等ものづくり企業出身者で改善現場で活躍する「滋賀ものづくり経営改善インストラクター」が中心に担当します。

インストラクタースクール修了者を対象とした「定石研究会」を開催

滋賀ものづくり経営改善インストラクター養成スクールを修了後には、インストラクター同士の情報交換、ワークショップ、スキルアップ、事例研究、事例発表等を行う「定石研究会」に参加し、スクールで学んだ知識をより実践的なものに発展させることができます。



カリキュラム体系

分類	講座名	内容
概 論	ものづくりの基礎概念	ものづくり技術の基礎概念とは何かを理解します。
	競争力と企業パフォーマンス	現場でのものづくり組織能力の大切さと収益力、インストラクターの仕事領域、パフォーマンスの図り方を理解します。
	人的資源管理	ものづくり現場における「人」に関する基本的な考え方や人事・労務管理全般について、整理し、体系的に理解します。
	コストと生産性	原価企画と原価管理の仕組み、生産性とIE・標準作業との関連、ムダと生産性向上の概念、コスト低減策を理解します。
	品質管理	「ものづくり」で取り上げる品質の範囲と定義、品質管理のアプローチ、現場での兆候の発見方法などを理解します。
	納期と工程管理	納期(D)と背後にある生産数量・生産期間(T)、それらの管理について基礎的な概念を理解します。
	フレキシビリティ	企業のフレキシビリティとはなにか、その必要性、要素を理解します。
	購買管理	広い意味での購買管理を取上げ、現場における基礎概念や具体的な購買管理システムの代替案等を理解します。
	製品開発・新事業開拓、ICTを活用したものづくり	製品開発の基礎とその考え方、新事業開拓の着眼点とその考え方、ICT技術を積極的に活用する所謂スマートものづくりの基礎と考え方を理解します。
	設備管理	設備投資の評価・決定、自動化の程度を選択、設備の保全の方法を理解します。
手 法 (理論・演習)	トヨタ生産システム	産業を超えて適用される考え方・手法を研究し、理解します。
	全体最適の問題解決ワークショップ I・II	TOC(制約条件の理論)のアプローチを体系的に紹介し、グループ討議などで学ぶ2日間のワークショップです。
	5S/QC7つ道具(新QC7つ道具)	企業体質の改善に有効である5Sや起きている現象を定量化する基本ツールである7つ道具を理解します。

分類	講座名	内容
手法 (理論・演習)	工場物流改善	現場の分析を進める見方などを学び直しを行います。
	QCDの指導手順	作業効率、生産性、標準作業時間などの基礎概念を理解し、具体的なカイゼン指導の進め方などを体系的に理解します。
	コミュニケーション	現場で人を指導する際に重要な「コミュニケーション」と「コーチング」について理解します。
	IE	現場の作業改善の基本手法であるIEを、理解します。
	現場診断実習での視点	現場診断実習を進めていく手法や実習先でのヒアリングの注意点などを整理します。
	現場診断実習手順説明	現場診断実習のねらい、手順、目標、成果等について整理します。
	現場改善の進め方	現場に立った際の着眼や進め方の基本パターンの振り返りを行います。
特別講座	経営者講話	経営者から見たインストラクター養成スクール及びインストラクターの活用事例について、経験と成果を紹介いただきます。
	日本企業の課題と戦略	創造性のマネジメントやデザインなどを話題に「のりしろ」という考え方を踏まえ、新しい機能サービスを引き出していく活動事例を紹介します。
	国際経営戦略	企業の取り組みなどを、世界各地でのものづくりの状況を踏まえて取上げ、日本企業の戦略を概観します。
現場診断実習	現場診断実習	4～5人一組のチームに分かれ、企業の現場における改善策を検討する実習を行います。
	チームディスカッション、改善案まとめ	現場と改善案を再確認の上、チームによるディスカッションを行い、最終的な提案のまとめを行います。

第3期の募集について

第3期スクールの概要

【受講期間】 平成29年9月9日(土)～平成30年1月27日(土)の土曜日
(11月4日を除く)
計23日間(1月5日、12日、19日、26日の各金曜日を含む)

【場 所】 立命館大学びわこ・くさつキャンパス(草津市野路東1-1-1)ほか
※立命館大学びわこ・くさつキャンパスの駐車場利用はご遠慮ください。
また、近隣への迷惑駐車についても禁止されております。

【募集定員】 15名(予定)

【講座日程】 次ページ記載のとおり

【募集対象】 次の(1)または(2)を満たし、生産管理・品質管理・生産技術などの現場経験があり、ものづくりに関する知識を有する方

(1)滋賀県内企業経営者、現場責任者、幹部候補者等

・事前に経営責任者等へ講座概要および目指すものについて説明を行い、スクールの受講についての御理解や業務に支障のない範囲で滋賀ものづくり経営改善センター事業への御協力を了承いただいたうえで受講対象とします。

(2)ものづくり企業等退職者

(例:工場長、生産管理部門責任者等を経験された方等)

・事前に講座概要および目指すものについて説明を行い、修了後のインストラクター派遣事業等滋賀ものづくり経営改善センターへの御協力を承諾いただいたうえで受講対象とします。



実施日程

日時		9:30	16:30
1	9月9日 土	開講式／ものづくりの基礎概念	特別講座／日本企業の課題と戦略
2	9月16日 土	競争力と企業パフォーマンスⅠ	コミュニケーション
3	9月23日 土	競争力と企業パフォーマンスⅡ	人的資源管理
4	9月30日 土	コストと生産性	
5	10月7日 土	品質管理	
6	10月14日 土	納期と工程管理	設備管理
7	10月21日 土	フレキシビリティ	購買管理
8	10月28日 土	QCDの指導手順	5S/QC7つ道具
9	11月11日 土	製品開発・新事業開拓、ICTを活用したものづくり Ⅰ部 一般基礎編／Ⅱ部 ICTを活用したものづくり	
10	11月18日 土	トヨタ生産システム	IE
11	11月25日 土	特別講座／全体最適の問題解決ワークショップⅠ ゴールドドラットコンサルティング	
12	12月2日 土	特別講座／全体最適の問題解決ワークショップⅡ ゴールドドラットコンサルティング	
13	12月9日 土	特別講座／経営者講話(90分) 現場診断実習手順説明(90分)	顧客に向かうモノと情報の流れ (VSM他)
14	12月16日 土	工場物流改善	現場改善の進め方
15	12月23日 土	現場診断実習での視点	特別講座／国際経営戦略 (～17:30まで)
16	1月5日 金	現場診断実習	
17	1月6日 土	現場診断実習①レポート作成	
18	1月12日 金	現場診断実習	
19	1月13日 土	現場診断実習②レポート作成	
20	1月19日 金	現場診断実習	
21	1月20日 土	現場診断実習③レポート作成	
22	1月26日 金	現場診断実習	
23	1月27日 土	修了発表(チーム)	修了発表(個人)／修了式

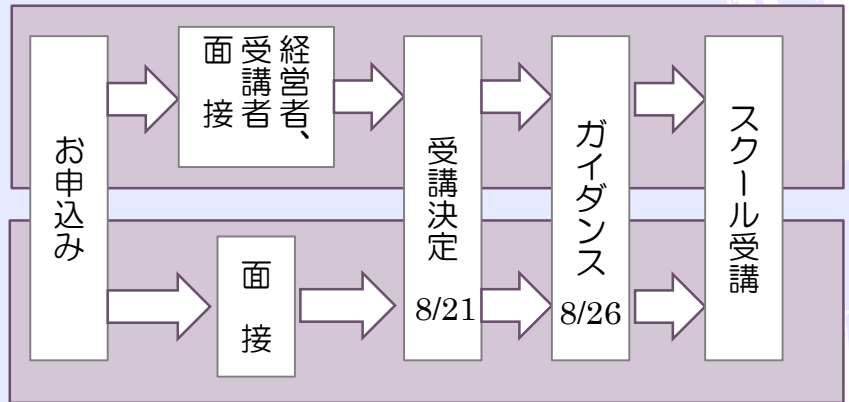
申込み・受講の流れ



(1)企業現役



(2)企業退職者



1. お申し込み

- ・必要書類を8月10日(木)までに(公財)滋賀県産業支援プラザ内滋賀ものづくり経営改善センターあてに御提出ください。
- ・必要書類や宛先の詳細は、当応募要領末尾を御参照ください。

2. 面接

- ・お申し込みいただいた方については面接を行います。企業退職者については、修了後に「インストラクター派遣事業」など当センターの活動への協力が必要となります。
- ・面接の結果は、受講者決定後速やかに申込者あてに通知します。

3. ガイダンス

- ・受講者決定後、ガイダンスを8月26日(土)午前にガイダンスを立命館大学びわこ・くさつキャンパス(草津市草津市野路東1-1-1)エポック立命21K309で実施します。
- ・ガイダンスでは、藤本隆宏教授の著書「生産マネジメント入門Ⅰ・Ⅱ」(日本経済新聞社)を教材として支給しますので、開講までの間、事前学習をお願いします。

4. 受講

- ・開講期間は9月9日～1月27日の金曜日、土曜日の計23日間です(金曜日は1月のみ)。〈P6の実施日程のとおり〉
- ・修了者には「滋賀ものづくり経営改善インストラクター選任証」を発行します。

5. 修了後の活動等

- ・「定石研究会」を年に4回程度開催し、実際の改善活動事例の紹介や最新の情勢などの講義を行い、スキルアップを図るとともに、インストラクター同士の交流を深めます。
- ・企業退職者については、修了後、「インストラクター派遣事業」において、要請のあった県内中小企業への派遣指導に参加いただきます。派遣された場合には報酬があります。

受講料

ガイダンス(8月26日)から開講(9月9日)までの間に納入していただきます。

- (1)企業現役 25万円(消費税別、税込みで27万円)
- (2)企業退職者 10万円(消費税別、税込みで10万8千円)

募集期間

平成29年6月2日(金)から平成29年8月10日(木)〈必着〉

お申込み方法

必要書類

- ①申込書
- ②職務経歴書
- ③会社案内(企業現役の方のみ、パンフレット等)

- ・所定の①申込書に必要事項を御記入の上、②職務経歴書および企業現役の方は③会社案内を添えて、(公財)滋賀県産業支援プラザ内滋賀ものづくり経営改善センターあて持参、または郵送で御提出下さい(ファクシミリ不可ですので御注意下さい)。
- ・②職務経歴書は市販の用紙などを使用し、受講者御本人の職務の御経歴をご記入ください。
- ・①申込書は(公財)滋賀県産業支援プラザで配布しているほか、以下のWEBサイトからもダウンロードできます。

(公財)滋賀県産業支援プラザ

<http://www.shigaplaza.or.jp/mmic/>

滋賀県商工観光労働部商工政策課

<http://www.pref.shiga.lg.jp/f/shokokanko/mmic/mmic.html>



滋賀ものづくり経営改善センター

Shiga Manufacturing Management Improvement Center

お申込み・お問い合わせ先

公益財団法人 滋賀県産業支援プラザ内

滋賀ものづくり経営改善センター

電話:077-511-1423

ファクシミリ:077-511-1429

〒520-0806

滋賀県大津市打出浜2番1号コラボしが21 2階